



移住者 Interview



人にはそれぞれ人生の転機というものがあります。今までの自分が歩んできた人生とは正反対な生活を送る人もいるでしょう。勇気を出して一歩を踏み出すことが、自分の人生を大きく変えてくれる出会いになるかもしれません。

念願の戸建てを建てたいという夢をいただき、神奈川県藤沢市から移住してきた飯島紘一さん。また移住してきて1年というフレッシュなご家庭ですが、ここでの暮らしは自分たちにプラスになることはかりたそうです。そんな飯島さんに仕事と移住生活についてお話をうかがってきました。

妥協しなかった移住条件

比企郡の鳩山町に移住する前は、神奈川県藤沢市のアパートに住んでいました。家を購入しようとして妻と前々から相談をしながら、藤沢市でマンションを買うか、戸建てを買うかで悩んでいました。話し合っていたうちに「将来的には広い方がいいから戸建てにしよう」ということになり、始めは藤沢市近辺を探しましたが、なかなか条件に合った物件がなくて……。秦野や相模原などほとんどエリアを広げていき、北上して視野を広げていき、一

「上手に管理できる人」が今後の目標

仕事面では、ビルやマンションに限らずこれからは、「管理すること」が必須になってくると実感しています。また妻も現在農業大学校に通っており、ゆくゆくは農業をしたいと考えているので、毎日の天気や作物の生育などで「管理すること」が増えると思います。事柄がスムーズに運ぶようにサポートできる人、いわば「下手にマネージメントできる人」になりたいというのが今後の目標です。妻も私もこの地で新しいことにチャレンジしていきたい、もっとここでの暮らしが楽しくなれば良いなと思っています。

分の仕事のプロセスの中にも活かすことができ、とてもプラスになっているなと実感しています。

180度変わった休日の過ごし方

自分でも信じられませんが、移住前後では生活がまったく変わりました。以前は休日には家具や洋服などショッピングに出かけることがほとんどでしたが、こちらに来てからは薪を割ったり、畑仕事をしたり、土いじりがメインになりました。自然と体を動かすことが増えたので、ストレッチ散にもなります。以前より仕事のオンとオフがはっきりするようになったので、精神的なリラックスは全然違います。また私自身は体を使うことで代謝が良くなったのか、顔色が良くなったねといわれます。さらに妻は肌荒れがひどかったのですが、こちらは水がきれいなので、随分良くなりました。実際にお風呂にお湯を入れてみると匂いが全然違いますよ(笑)。

地域コミュニケーションが仕事にもプラスに

藤沢市に住んでいたころよりは通勤時間は30分長くなりましたが、何よりもここでは電車で座って通えるってことが大きいですね。なので、その点はまったく苦には思いません。またこの地域はわりと人づきあいが濃いのと思います。藤沢市では自分の古くからの友人関係しか関わりはありませんでしたが、ここではまったく知らない方も出会う機会が増えました。さまざまな話をしたり、聞いたりして、とても親切にいただいています。地域の方とコミュニケーションを取ることで解決することってたくさんあって、それが自

自分の人生を大きく変えた出来事

年半以上かかり今のこの場所に決まりました。大きな買い物ということもあり妥協はしなくなったので、時間をかけてじっくり探しましたね。仕事は転職するつもりもなかったのですが、通勤可能な場所や環境、費用面などの条件が合う物件を見つけれずて本当によかったと思っています。最終的には和風をモチーフにした家を探しましたが、当初はログハウスの案もあったので、土地が広めで、庭なども作れるところがいいなというのが、大きな条件でもありました。長い目で見て、歳をとっても住みやすいように平屋で段差をあまりなくした間取りにしました。隅から隅までこだわり抜いたので、とても気に入っています。

妥協しなかったから出会えた新しいライフスタイル



以前はバンド活動をしながらライブハウスの副店長の仕事をしていました。自分は音楽に携わる道しか考えていませんでした。しかしそこで妻と出会い、子どもにも恵まれ、今のままではいけないかなと思いつ、ビルやマンション管理会社の仕事に転職しました。あのとき、子どもに恵まれなかったら今のこの生活もしていなかったの、人生はどうなるかわからないものですね(笑)。

今の会社は入社して4年半くらい経ちますが、主な仕事は、所有者様



飯島紘一さん  
埼玉県鳩山町在住。  
奥様、お子さん2人の4人家族。  
憧れのマイホームを手に入れ、地域住民の方の温かさを実感しながら日々を満喫している。